

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅲ	時間数	30時間
講師名	専任教員、非常勤講師	履修学年	2年次
概要	成人期にある対象の健康障害を経過別（回復期）に理解し、健康のレベルに応じた援助の方法を学ぶ。		
学習目標	1. 回復期にある成人期の対象を理解できる。 2. 回復期にある対象の看護の特徴を理解できる。		
<b>授業内容</b>			
回数	学習内容	授業形態	
1	リハビリテーション看護の対象	講義	
2	リハビリテーション看護の特徴と方法	講義	
3	まとめ/試験	講義・試験	
4・5・6	循環障害のある対象の看護 1) 虚血性心疾患の基礎知識 2) リハビリテーションの流れ 3) 回復期にある患者の看護/試験 (ADL自立に向けた援助、再発・合併症の予防、退院指導等)	講義 試験	
7	提示された事例（心筋梗塞）をもとにグループワークし、事例から考えられる状況や看護をまとめ、発表する。	演習	
8・9・10	運動機能障害（骨折）のある対象の看護 1) 骨折の基礎知識 2) リハビリテーションの流れ 3) 回復期にある患者の看護/試験 (ADL自立に向けた援助、合併症の予防、退院指導等)	講義 試験	
11	提示された事例（大腿骨頸部骨折）をもとにグループワークし、事例から考えられる状況や看護をまとめ、発表する。	演習	
12・13・14	脳血管障害のある対象の看護 1) 脳血管障害の基礎知識 2) リハビリテーションの流れ 3) 回復期にある患者の看護/試験 (ADL自立に向けた援助、再発・合併症の予防、退院指導等)	講義 試験	
15	提示された事例（脳梗塞）をもとにグループワークし、事例から考えられる状況や看護をまとめ、発表する。	演習	
<b>使用教科書・教材・参考書</b>			
系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院			
<b>成績評価の方法</b>			
筆記試験100% (1～3回25% 4～6回25% 8～10回25% 12～14回25%)			
<b>備考</b>			
15回全て合同講義			

1～3回目専任教員、4～15回目非常勤講師